

学校だより



令和5年5月31日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

「1秒をたいせつに」

副校長 高橋 雄一

学校の木々の緑が濃くなってきました。2か月前、二谷小に赴任したばかりの頃は、ようやく暖かくなり、桜が少し散り始めたくらいでした。しかし、あっという間に緑一色になり、校庭では、子どもたちが元気に走り回っています。季節の移ろいの早さ・時がたつ早さにびっくりしています。

さて、時にちなんだ日として、6月には「時の記念日」(6月10日)があります。今から100年ほど前の1920年に、時間の大切さや時間を守ることを意識してもらうことを目的として制定された日だそうです。1秒、1分、1時間、1日…。時といっても色々な単位があります。普段は時間の大切さを意識する間もなく過ごしがちですが、今回は1秒でどんなことができるのかを考えてみました。

たかが1秒と思っていましたが、調べてみると今もこの1秒間にはいろいろなことが起こっているようです。大草原にいるチーターは、1秒間に28m 駆け抜けます。これからの季節に出てくる蚊は1秒間に500~1000回羽ばたきます。世界中のニワトリが1秒間に33000個の卵を産みます。1秒間に5700リットルの炭酸飲料が飲まれています…等々。他にもまだまだたくさんの方が、「1秒」で起こっています。わたしたちは1秒間にどんなことができるでしょうか。玄関で靴をそろえる。落ちているものを拾う。使わないときの電気を消す。道路を渡るときに左右を確認する、「おはようございます。」と挨拶をする。「ありがとう。」と感謝を伝える…等々。その他、まだまだありそうです。たった1秒でも地球の環境に影響したり、人を幸せにしたり大切な時間となります。1秒でできることを増やし、大切な「時」にしていきたいです。

一生は1秒の積み重ねです。二谷小の子どもたちが、自分のためになる1秒、人のためになる1秒、すてきな1秒を積み重ねて幸せに過ごせるようにしていきたいと思います。

今後ともご協力をお願いします。

